

# ミヤマツチトリモチ

*Balanophora nipponica*

ツチトリモチ科

カテゴリー

大分県 〓

環境庁 〓



種  
子  
植  
物

低山地の落葉樹林内に生える寄生植物。ウリハダカエデ、コミネカエデなどが寄主として知られている。寄主の根の先端部分と根茎の接合部分は肥大して木化し、直径10cmほどの木こぶになることがある。1つの根茎に花茎は数個つくが、まれに10個以上つくこともある。7～8月に長だ円形の花穂をつける。色は橙黄色。個体数は極めて少なく、自然林の伐採による生育地の減少が懸念される。

(写真：羽田野二男 文：小田 毅)

**県内分布** 九重火山群，由布・鶴見火山群，祖母・傾山地

**分布域** 本州（北～中部），九州（長崎・大分・鹿児島）

**国立公園指定植物** [阿蘇くじゅう]